

登録番号 第 5329 号

ドジョウピクリン®

特長： ●広範囲の土壌病害虫、センチュウに対して有効です。
●畑地の雑草に対しても効果を示します。

ドジョウピクリンは日本化薬(株)の登録商標です。

有効成分	クロルピクリン (PRTR 法第1種)・・・80.0%	包装	20L×1
性状	淡黄色透明液体	有効年限	5年
毒性	劇物	危険物	指定可燃物 (可燃性液体類 2m ²)

2017年1月11日現在の内容です。

作物名	適用病害虫名 適用雑草名	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを含む 農薬の総使用回数
りんご	紋羽病	1穴当り 6~12mL	1回	土壌くん蒸	1回
いちじく (苗木)	白絹病 センチュウ類	〈圃場〉 1穴当り 3mL	1回	土壌くん蒸	1回
あぶらな科野菜 (キャベツ、こまつなを 除く)	萎黄病 センチュウ類 ハガハムシ類 ネムシ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3~6mL 〈圃場〉 1穴当り 2~3mL	1回	土壌くん蒸	1回
こまつな	萎黄病 センチュウ類 ハガハムシ類 ネムシ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3~6mL 〈圃場〉 1穴当り 2~3mL	1回	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内)
だいこん	亀裂褐変症	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3~6mL 〈圃場〉 1穴当り 2~3mL	1回	土壌くん蒸	1回
はくさい	黄化病 軟腐病 根くびれ病	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3~6mL 〈圃場〉 1穴当り 2~3mL	1回	土壌くん蒸	1回
キャベツ	萎黄病 センチュウ類 ハガハムシ類 ネムシ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3~6mL 〈圃場〉 1穴当り 2~3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)

作物名	適用病害虫名 適用雑草名	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを含む 農薬の総使用回数
レタス	ビッカバイン病	〈圃場〉 1穴当り 3mL	1回	土壌くん蒸	1回
	根腐病 センチュウ類 ハカネムシ類 ネキリムシ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL			
非結球レタス (チガヤ菜を除く)	ビッカバイン病	〈圃場〉 1穴当り 3mL	1回	土壌くん蒸	1回
	根腐病 センチュウ類 ハカネムシ類 ネキリムシ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL			
チガヤ菜	ビッカバイン病	〈圃場〉 1穴当り 3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)
	根腐病 センチュウ類 ハカネムシ類 ネキリムシ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL			
くきちしゃ	ビッカバイン病	〈圃場〉 1穴当り 3mL	1回	土壌くん蒸	1回
	根腐病 センチュウ類 ハカネムシ類 ネキリムシ類 一年生雑草	〈圃場〉 1穴当り 2～3mL			
ほうれんそう	萎凋病 立枯病 苗立枯病 ホリシウケガコナダニ センチュウ類 ハカネムシ類 ネキリムシ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内)
ピーマン	萎凋病 センチュウ類 ハカネムシ類 ネキリムシ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
とうがらし類	萎凋病 センチュウ類 ハカネムシ類 ネキリムシ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)

作物名	適用病害虫名 適用雑草名	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを含む 農薬の総使用回数
トマト	青枯病 萎凋病 半身萎凋病 セチュウ類 ハガキ類 ネリ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
ミニトマト	青枯病 萎凋病 半身萎凋病 セチュウ類 ハガキ類 ネリ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、圃 場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
なす	青枯病 半身萎凋病 セチュウ類 ハガキ類 ネリ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内)
うり科野菜(すいか、きゅうり、トマト、にがうり、うり類(漬物用)を除く)	つる割病 白絹病 セチュウ類 ハガキ類 ネリ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
漬物用トマト	つる割病 白絹病 セチュウ類 ハガキ類 ネリ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)
トマト	つる割病 白絹病 黒点根腐病 セチュウ類 ハガキ類 ネリ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)
にがうり	疫病 つる割病 白絹病 苗立枯病 セチュウ類 ハガキ類 ネリ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内)

作物名	適用病害虫名 適用雑草名	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを含む 農薬の総使用回数
うり類 (漬物用、ただし、漬 物用用を除く)	疫病 つる割病 白絹病 苗立枯病 センチュウ類 ハガハムシ類 ネキリムシ類 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3～6mL <圃場> 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
きゅうり	疫病 つる割病 白絹病 苗立枯病 センチュウ類 ハガハムシ類 ネキリムシ類 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3～6mL <圃場> 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
かぼちゃ (かぼちゃ台を含 む)	ガザリム立枯病	<床土・堆肥> 1穴当り 3～6mL	1回	土壌くん蒸	1回
	ガザリム立枯病 一年生雑草	<圃場> 1穴当り 3～4mL			
すいか	つる割病 白絹病 センチュウ類 ハガハムシ類 ネキリムシ類 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3～6mL <圃場> 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
	根腐病	<圃場> 1穴当り 3mL			
いちご	萎黄病 炭疽病 センチュウ類 ハガハムシ類 ネキリムシ類 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3～6mL <圃場> 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
アスパラガス	立枯病 センチュウ類 ハガハムシ類 ネキリムシ類 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3～6mL <圃場> 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内)
セリ	萎黄病 センチュウ類 ハガハムシ類 ネキリムシ類 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3～6mL <圃場> 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)

作物名	適用病害虫名 適用雑草名	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを含む 農薬の総使用回数
しょうが	根茎腐敗病 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内)
葉しょうが	根茎腐敗病 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内)
うど	萎凋病 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
にんじん	セチュウ類 ハガキ類 ネリムシ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
ごぼう	黒あざ病 セチュウ類 ハガキ類 ネリムシ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内)
かんしょ	立枯病 つる割病 紋羽病 セチュウ類 ハガキ類 ネリムシ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
さといも	疫病 セチュウ類 ハガキ類 ネリムシ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
やまのいも	褐色腐敗病 根腐病 セチュウ類 ハガキ類 ネリムシ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
やまのいも (むかご)	褐色腐敗病 根腐病 セチュウ類 ハガキ類 ネリムシ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回

作物名	適用病害虫名 適用雑草名	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを含む 農薬の総使用回数
ばれいしょ	そうか病	〈圃場〉 1穴当り 3mL	1回	土壌くん蒸	1回
	青枯病 センチュウ類 ハカネムシ類 ネキリムシ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL			
ねぎ	白絹病 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
あさつき	白絹病 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)
わけぎ	白絹病 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)
たまねぎ	苗立枯病 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
パセリ	立枯病 一年生雑草	〈圃場〉 1穴当り 3mL	1回	土壌くん蒸	1回
にんにく	根腐病 一年生雑草	〈圃場〉 1穴当り 3mL	1回	土壌くん蒸	1回
薬用にんじん	根腐病 一年生雑草	〈圃場〉 1穴当り 3mL	1回	土壌くん蒸	1回
こんにゃく	乾腐病 白絹病 根腐病 センチュウ類 ハカネムシ類 ネキリムシ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
豆類 (種実、ただし、いん げんまめを除く)	立枯病 白絹病 センチュウ類 ハカネムシ類 ネキリムシ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回

作物名	適用病害虫名 適用雑草名	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを含む 農薬の総使用回数
豆類 (未成熟、ただし、さ やいんげん、未成熟 そらまめ、さやえん どう、実えんどうを 除く)	立枯病 白絹病 センチュウ類 ハガキ類 ネムシ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
さやえんどう	立枯病 白絹病 センチュウ類 ハガキ類 ネムシ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内)
実えんどう	立枯病 白絹病 センチュウ類 ハガキ類 ネムシ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内)
いんげんまめ	立枯病 白絹病 センチュウ類 ハガキ類 ネムシ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内)
さやいんげん	立枯病 白絹病 センチュウ類 ハガキ類 ネムシ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
未成熟そらまめ	立枯病 白絹病 センチュウ類 ハガキ類 ネムシ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)
ふき	半身萎凋病	〈圃場〉 1穴当り 3mL	1回	土壌くん蒸	1回
ふき (ふきのとう)	半身萎凋病	〈圃場〉 1穴当り 3mL	1回	土壌くん蒸	1回
らっきょう	白絹病	〈圃場〉 1穴当り 3mL	1回	土壌くん蒸	1回
みつば	立枯病	〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回

作物名	適用病害虫名 適用雑草名	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを含む 農薬の総使用回数
てんさい	黒根病 苗立枯病 センチュウ類 ハカネムシ類 ネズミ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
あま	立枯病 センチュウ類 ハカネムシ類 ネズミ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
麦類	立枯病 センチュウ類 ハカネムシ類 ネズミ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
とうもろこし	白絹病 センチュウ類 ハカネムシ類 ネズミ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
陸稲	センチュウ類 ハカネムシ類 ネズミ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
花き類・観葉植物	青枯病 半身萎凋病 萎凋病 (フザリウム菌) 萎黄病 (フザリウム菌) 株枯病 (フザリウム菌) 乾腐病 (フザリウム菌) 球根腐敗病 (フザリウム菌) 立枯病 (フザリウム菌) 葉枯病 (フザリウム菌) 腐敗病 (フザリウム菌) センチュウ類 ハカネムシ類 ネズミ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)

作物名	適用病害虫名 適用雑草名	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを含む 農薬の総使用回数
きく	白絹病 立枯病	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
カーネーション	立枯病	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
りんどう	褐色根腐病	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
ストック	苗立枯病	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
デルフィニウム	立枯病	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
スターチス	萎凋細菌病	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
ゆり	萎凋細菌病	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
ほおずき	軟腐病	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
トルコギキョウ	株腐病 苗立枯病	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL L〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
桑	紋羽病	1穴当り 6～12mL	1回	土壌くん蒸	1回
たばこ	白絹病 立枯病 センチュウ類 ハガネムシ類 ネキリムシ類 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～6mL L〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回

■については有効成分を含む農薬の総使用回数を示すものです。

使用上の注意事項

- (1) 温度が低いと本剤のガス化が悪く、十分な効果が得られないこともあるので、なるべく地温が 7℃以上の時を使用すること。
- (2) 本剤を処理する場合、液漏れ、液だれがなく正確に注入量を調節できる土壤消毒機を使用すること。本剤を床土・堆肥に処理する場合は、床土・堆肥を 30cm の高さに積み、30×30cm ごとの深さ約 15cm の位置に所定量を注入し、直ちに覆土する。更に 30cm の高さに積み上げ、これをくり返し、最後にポリエチレン、ビニール等で被覆し、7 日以上おくこと。本剤を圃場に処理する場合は、耕起、整地後、全面処理の場合は、30×30cm ごとの深さ約 15cm の位置に所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆すること。播種溝処理、植穴処理、うね処理の場合も全面処理に準じて処理すること。処理後 10 日以上経過してから播種または移植すること。りんご、桑に使用する場合は、あらかじめ病株、病根等を除去した後、約 60cm の深さに耕起、整地し、全面処理の場合は、30×30cm ごとの深さ 30～40cm の位置に所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆すること。処理後 20 日以上経過してから植付ける。植穴処理の場合も全面処理に準じて処理すること。
- (3) 本剤の処理に当たっては、ガスが土中で十分拡散するよう耕起、砕土を十分に行い、丁寧に整地してから処理すること。但し、耕起直後ではガスが抜けやすいので、耕起後しばらくたって土壌がおちついてから処理することが望ましい。また、土中でのガスの拡散は土の湿り気のある時、すなわち土を握って放すと割れ目ができる程度の時に注入するのが最適である。注入部位を直ちに覆土し、地表面をポリエチレン、ビニール等で被覆すること。
- (4) 地温が 15℃以上の時は処理後 10 日位、また、地温が低い時は処理後 20～30 日経過するとガスは大体抜けるが、念のためくわを入れ、土質、気温等により、なお臭気が残っている時は、よく切り返し、完全にガス抜きを行ってから、播種あるいは移植すること。うり類は本剤のガスに弱いので、ガス抜きは特に丁寧に行うよう注意すること。
- (5) 本剤でくん蒸した本圃に豆科植物を栽培するときは、根りゅう菌が死滅しているおそれがあるので、根りゅう菌を接種して、播種すること。
- (6) 作物の生育中には薬害を生ずるので使用しないこと。隣接地に生育中の作物がある場合には、揮散ガスによる薬害に注意すること。特に、生育中の作物があるハウス内では使用しないこと。
- (7) りんご、桑等の跡地消毒の場合、隣接株より 50cm 以上離して処理すること。また、ガスの抜けを確認してから植付けること。
- (8) ミツバチの巣箱周辺での使用はさけること。
- (9) 消石灰などのアルカリ性肥料の施用直後に本剤を処理すると作物に有害な物質を作り、薬害の発生するおそれがあるので、このような肥料はガス抜き後に施用するか、または本剤処理の 10 日以上前に施用すること。
- (10) 他剤と混用しないこと。特にカーバム剤およびカーバムナトリウム剤とは化学反応により、発熱し危険であるので、カーバム剤及びカーバムナトリウム剤使用後の散布器具等はよく洗浄してから用いること。
- (11) 金属腐食性があるので、使用後の注入器具その他は灯油でよく洗うこと。
- (12) 薬液の入っている製品缶に水が混入すると缶が腐食するおそれがあるので、製品缶には水を入れないこと。
- (13) 土壤消毒機の薬液タンク（ポリタンク等）に移した薬液は水分を含んでいる可能性があり、製品缶を腐食するおそれがあるので、残存薬液は製品缶に戻さず、使い切ること。
- (14) 処理後の放置期間と効果・薬害との関係は、土壌の種類、腐植土の多少、温度、土壌水分、作物の種類によって様ではないので、本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意すること。特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

- (1) 医薬用外劇物。取扱いには十分注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせること。本剤は窒息性有毒ガスを発生するので、揮散したガスを吸い込まないように注意すること。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、通風の良好な場所で顔を横に向け、体を暖めながら直ちに医師の手当を受けること。場合によっては、酸素吸入又は人工呼吸を行い、強心剤等を投与すること。
- (2) 本剤は催涙性の刺激を有し、眼、のど、鼻を刺激するので注意すること。ガスが眼に入りひどく痛む時は、多量の水でよく洗い速やかに眼科医の手当を受けること。
- (3) 本剤は皮膚に対して強い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- (4) 本剤の投薬作業の際は吸収缶（活性炭入り）付き防護マスク、保護眼鏡、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣などを着用すること。ガス抜き作業の際も同様の防護マスク、保護眼鏡を着用すること。作業の際はガスを吸い込まないように風向き等を十分考慮すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼すること。
- (5) 本剤が衣服等に付いた場合には、脱衣して他のものとは分けてよく洗濯し、本剤の臭気が抜けるまで身につけないこと。

- (6) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- (7) 作業中及びくん蒸中の圃場へ小児等作業に関係ないものや家畜、家禽が立ち入らないよう十分注意すること。
- (8) 揮散ガスによる危被害を防止するため、本剤の処理は朝夕の気温の低い時間帯に行うこと。処理後は直ちに、必ずビニール等で被覆を行うこと。
- (9) 住宅、畜舎、鶏舎周辺での使用に当っては、以下の事項に留意し、ガスによる危被害の発生防止に十分配慮すること。
 - 1) 高温期の処理を避け、気温の低い季節に処理するのが望ましい。
 - 2) 住宅、畜舎、鶏舎が風下になる場合、処理を控えること。
 - 3) 被覆資材は厚めのもの（0.03mm以上）を使用すること。
 - 4) 風の強さや向きが変わり、危被害を及ぼす恐れがある場合は、ガス抜き作業を中断すること。
- (10) 本剤をビニールハウス等の施設内で使用する場合、出入口、天窓、側窓等を開け通気をよくして作業を行うこと。作業後は直ちに密閉し、臭気が残っている期間にはハウス内へ入らないこと。くん蒸後はハウスを開放し、十分換気した後に入室すること。
- (11) 本剤を使用する場合、注入処理と同時に被覆する機能を備えた土壌消毒機を使用することが望ましい。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨-----

- (1) 本剤は水産動植物（魚類、甲殻類、藻類）に強い影響を及ぼすので、河川、湖沼、海域及び養殖池に本剤が飛散、流入する恐れのある場所では使用しないこと。
- (2) 散布器具、容器の洗浄水及び残りの薬液は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨-----

本剤は皮膚に対して強い刺激性がある。

貯蔵上の注意事項-----

直射日光をさけ、鍵のかかるなるべく低温な場所に密封して保管すること。